

どっと原価シリーズ

予算データ読込モジュール マニュアル



【目次】

I. 予算データ読込モジュール	1
1. 概要	1
2. 導入に関する制約事項	2
3. 準備	2
4. 既定書式	3
II. 受入パターンを作成	4
1. パターン設定画面	4
2. パターン作成例①	6
3. パターン作成例②	7
III. 予算入力画面で受入	8
1. 予算入力画面	8
2. 予算データ読込	9
3. 予算入力画面へ引用	10
4. 環境の注意点	11

I. 予算データ読込モジュール

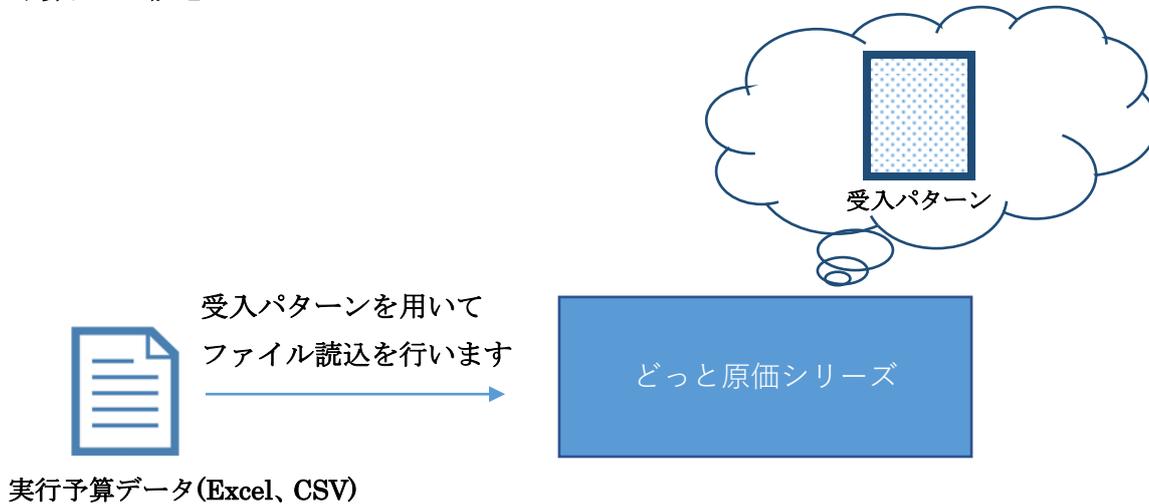
1.概要

「受入パターン」を用いて、実行予算データの外部取込を行います。
 任意の「受入パターン」作成も可能になっています。

パターン作成



予算データ読込



<既定パターン・既定ファイル>

どっと原価シリーズインストール時に、「既定パターン」「既定ファイル」も同時にインストールされます。
 基本的に、「既定ファイル」に合わせて、「データ貼付」、「ファイル読込」という流れになります。

※既定パターン・既定ファイルで対応できない、もしくは自社書式での読込が必要な場合、
 新規パターン作成を行うこととなります（「II.受入パターンを作成」を参考にして下さい）。

注意点

予算データ読込モジュールは、「初期設定」-「予算情報」の「代価数量表示」に対応していません。

2.導入に関する制約事項

○が付いている製品で、本オプションをご導入いただけます。

	どっと原価NEO				どっと原価3		
	LT	ST	EX	Iaas	ライト	スタンダード	エキスパート
予算データ読込	○	○	○	○	○	○	○

3.準備

小数点設定：ファイル受入時に、「数量」「単価」は、どっと原価シリーズの小数点設定を用いて変換されます。
「会社設定」・「端数設定」より、少数点設定（少数三位まで）を行うことができます。

予算・発注・原価		
数量小数点	3	小数三位
単価小数点	3	小数三位
金額小数点	0	小数なし
数量端数(率からの割戻)	2	四捨五入
金額端数	3	切り上げ
消費税端数	1	切り捨て

項目名称設定：予算入力サブツールバーの項目名称設定が可能です。既定値は「予算データ読込」です。

マスター及び入力画面選択 予算入力 ※ 桁数は半角入力時の桁数となります。

項目名	ユーザー定義名	属性	桁数	最大桁数	小数桁数	小数最大桁数
予算データ読込	予算データ読込	3 名称	16	16		

初期設定-予算情報タブ：「当初確定前でも入力可」・・・当初列、変更列ともにファイルの値が読み込まれます。
「当初確定後に入力可」・・・当初列のみファイルの値を読み込みます。

工事情報	原価情報	予算情報	発注情報
積上金額表示	税抜		
予算変更の入力	当初確定後に入力可		
品名金額入力	当初確定前でも入力可		
契約列の設定	当初確定後に入力可		

II. 受入パターンを作成

1. パターン設定画面

①ヘッダー部

メニュー：[導入] - [設定] - [読込レイアウト設定]

処理区分	予算			
パターン		受入行		~
受入参考ファイル		見出し行		終了空行数
Excelシート名				

- パターン** : 任意のパターン名称の設定が可能です。
- 受入参考ファイル** : 受入対象となるファイルを選択します。
- Excel シート名** : 受入参考ファイルが Excel ファイルの場合、シート選択が可能になります。
- 受入行** : ファイルの「データ」部を指定します。
- 見出し行** : ファイルの「列名」部を指定します。
- 終了空行数** : 空白行が連続した場合の、読み込み終了値を指定します。
※基本的には空白で問題ありません。

②紐づけ設定部

受入項目リスト					参考ファイル項目リスト		
No.	項目名	列	受入内容	必須	No.	列	受入内容
1	行番号						
2	階層レベル			○			
3	取引区分						
4	取引区分名						
5	明細コード						
6	階層名1						
7	階層名2						
8	階層名3						
9	明細名1						
10	明細名2						
11	税処理区分						
12	税処理名						
13	当初数量						
14	当初単位						
15	当初単価						
16	当初金額						
17	当初消費税						
18	当初税率						
19	変更数量						
20	変更単位						
21	変更単価						
22	変更金額						
23	変更消費税						
24	変更税率						
25	業者コード						
26	要素内訳コード						
27	備考1						

- 受入項目リスト** : どっと原価シリーズ側の項目です。
- 参考ファイル項目リスト** : 「受入参考ファイル」の項目です。「見出し行」の読込を行います。

【出来高請求の解決 TP をご購入されている場合】

初期設定-予算情報タブ：契約項目表示「する」に設定することで、以下「契約数量」～「契約税率種別」の項目を受入することができます。

契約列の設定

契約項目表示 する

処理区分 予算

パターン > 受入行 > ~ >

受入参考ファイル > 見出し行 > 終了空行数 >

Excelシート名 >

受入項目リスト

No.	項目名	列	受入内容	必須
1	階層レベル			○
2	取引区分			
3	明細コード			
4	階層名1			
5	階層名2			
6	階層名3			
7	明細名1			
8	明細名2			
9	税処理区分			
10	契約数量			
11	契約単位			
12	契約単価			
13	契約金額			
14	契約消費税			
15	契約税率			
16	契約税率種別			
17	当初数量			

参考ファイル項目リスト

No.	列	受入内容

③補助部

階層文字列を使用する

階層判断列	>
階層判断基準(1)	半角数字 >
階層判断基準(2)	半角数字 >
階層判断基準(3)	半角数字 >
階層判断基準(4)	半角数字 >

受入除外項目

No.	列	除外対象値
*		

階層文字列を使用する：「階層番号」以外で、階層認識を行う場合に使用します。
※費目：1、工種：2、種別：3、品名：4（もしくは空白）が既定の「階層番号」認識です。

階層判断列：階層認識の文字が入力されている列を指定します。

階層判断基準(1)～(4)：上位階層から該当文字を指定します。

受入除外項目：指定列にその項目が存在する場合、読込から除外します。

2. パターン作成例①

処理区分 予算

パターン パターン例1

受入参考ファイル C:\出力データ\パターン例1. 取込シートを選択

Excelシート名 実行予算

受入行 5 ~

見出し行 4 終了空行数

受入項目リスト

No.	項目名	列	受入内容	必須
1	階層	A	階層	
2	取引区分			
3	取引区分名			
4	明細コード			
5	階層名1			
6	階層名2			
7	階層名3			
8	明細名1	B	名称	
9	明細名2			
10	税処理区分			
11	税処理名			
12	当初数量	C	数量	
13	当初単位			
14	当初単価	D	単価	
15	当初金額	E	金額	
16	当初消費税			
17	当初税率			
18	変更数量			
19	変更単位			
20	変更単価			
21	変更金額			
22	変更消費税			
23	変更税率			
24	業者コード			
25	要素内訳コード			
26	備考1	F	摘要	

どっと原価シリーズ項目と紐づけ

参考ファイル項目リスト

No.	列	受入内容
1	A	階層
2	B	名称
3	C	数量
4	D	単価
5	E	金額
6	F	摘要
7	G	

4行目の見出し行を取得

取込対象の Excel

実行予算						
見出し行	階層	名称	数量	単価	金額	摘要
5	1	費目	1	-		
6	2	工種	1	-		
7	3	種別	1	-		
8		品名A	5	1500	7500	現場使用
9		品名B	15	2500	37500	-
10		品名C	20	3000	60000	-
11		品名D	20	1000	20000	-
12		品名E	5	250	1250	現場Bに移動
13		品名F	2	570	1140	-
14		品名G	1	300	300	-
15		品名H	2.5	15000	37500	-
16		品名I	6	600	3600	材料
17		品名J	4	6000	24000	-
18	1	費目②	1	-		
19	2	工種②	1	-		

受入除外項目

No.	列	除外対象値
1	F	-
*		

F列：摘要列の「ハイフン」除外設定

階層認識は階層番号で行います。

「費目階層：1、工種階層：2、種別階層：3、品名階層：空白」

3. パターン作成例②

処理区分 予算

パターン パターン例1 受入行 5 ~

受入参考ファイル C:\#出力データ\パターン例2.xlsx 見出し行 4 終了空行数

Excelシート名 実行予算

受入項目リスト

No.	項目名	列	受入内容	必須
1	階層			
2	階層レベル	A	階層	○
3	取引区分			
4	取引区分名			
5	明細コード			
6	階層名1			
7	階層名2			
8	階層名3			
9	明細名1	B	名称	
10	明細名2			
11	税処理区分			
12	税処理名			
13	当初数量	C	数量	
14	当初単位			

パターン作成例①と基本的な設定は同じ

参考ファイル項目リスト

No.	列	受入内容
1	A	階層
2	B	名称
3	C	数量
4	D	単価
5	E	金額
6	F	摘要
7	G	

<階層文字列を使用>

- ・ A 列が階層認識列
- ・ 費目：半角英大文字→A
工種：半角英小文字→a
種別：半角数字→1
- 品名：空欄は無条件で品名階層

階層文字列を使用する

階層判断列	
階層判断列	A
階層判断基準(1)	半角英大文字
階層判断基準(2)	半角英小文字
階層判断基準(3)	半角数字
階層判断基準(4)	半角数字

	A	B	C	D	E	F
1	実行予算					
2						
3						
4	階層	名称	数量	単価	金額	摘要
5	A	費目	1	-		
6	a	工種	1	-		
7		1 種別	1	-		
8		品名A	5	1500	7500	現場使用
9		品名B	15	2500	37500	-
10		品名C	20	3000	60000	-
11		品名D	20	1000	20000	-
12		品名E	5	250	1250	現場Bに移動
13		品名F	2	570	1140	-
14		品名G	1	300	300	-
15		品名H	2.5	15000	37500	-
16		品名I	6	600	3600	材料
17		品名J	4	6000	24000	-
18	A	費目②	1	-		
19	a	工種②	1	-		
20		1 種別②	1	-		

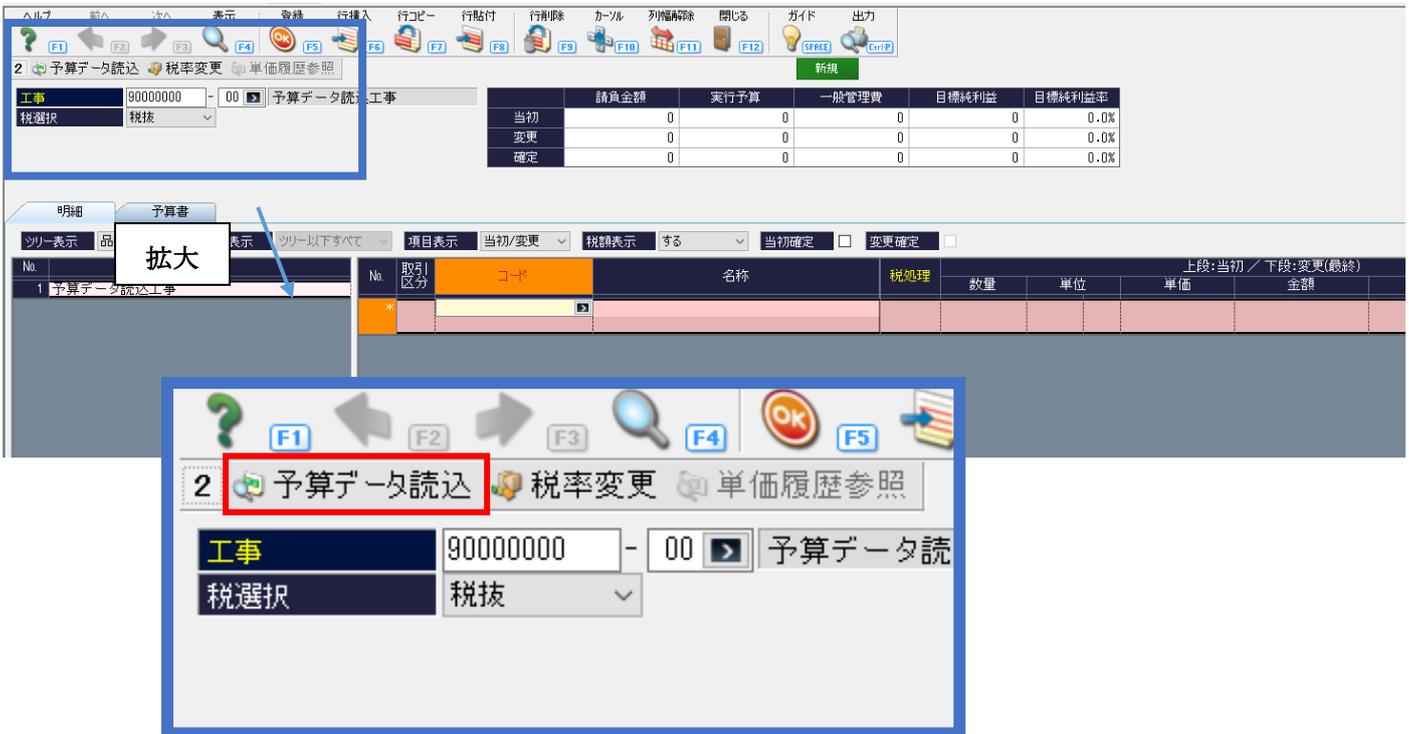
費目：A となっていますが、文字指定は存在せず、費目：B や工種：c でも問題ありません。
「階層判断基準」の文字を満たすよう、書式設定を行ってください。

III. 予算入力画面で受入

1. 予算入力画面

メニュー：[見積/予算] - [予算入力]

予算入力画面より、「予算データ読込」機能を利用してデータ受入を行うことができます。
 なお、「予算データ読込」機能は下図のようにサブツールバーから利用できます。



「予算データ読込」は、明細部にカーソルが存在する時だけ利用できます。

2. 予算データ読込

「予算データ読込」ボタンを押下し、「予算データ読込」画面を開き、受入ファイルを選択します。
その後、受入条件設定を元に「表示 (受入)」ボタンを押下することでファイルの内容が画面に表示されます。



受入結果

予算Excel読込

ファイル名: C:\出力データ\予算内訳書.xlsx

Excelシート名: 予算内訳書

受入行: 2 ~ 見出し行

引用時の再計算(金額): しない

引用時の再計算(消費税): しない

同一品名を合算: しない

引用時に閉じる 上位階層も引き継ぐ

No.	チェック	レベル	取引区分名	コード	品種	品名	税込
1	<input type="checkbox"/>	1		101	直接工事費		
2	<input type="checkbox"/>	2		101	土工		
3	<input type="checkbox"/>	3		10104	フルーザ掘削押土		
4	<input type="checkbox"/>	4 通常		0000-0018-000401	諸経費その他	電力用水費	1
5	<input type="checkbox"/>	4 通常		0000-0001-000001	手入力用	材料費	1
6	<input type="checkbox"/>	4 通常		0000-0013-000002	社内機械・設備機械	フルーザー 4t	3

※この段階では、ファイル内容の表示のみを行っております。引用は次の段階になりますのでご注意ください。

<受入条件設定>

- パターン** : 受入に用いるパターンを設定します。
既定パターン、もしくは新規で作成したパターンを選択して下さい。
- ファイル名** : 受入ファイルを選択します。
- 受入行** : データ部分を指定します。
※見出し行を除く
- 見出し行** : 列名 (金額や単位等) を示す行を指定します。
- 終了空行数** : 受入データに空白行が連続する場合に使用します。
指定した数に連続空白行が達した場合、受入を終了します。
- Excel シート名** : 受入ファイルのシート名を指定します。
- 引用時の再計算(金額)** : 「しない」 → 表示されたデータをそのまま引用します。
※「費目、工種、種別」の積上金額は必ず再計算されます。
「数量×単価で金額再計算」 → 数量×単価で金額を算出します。
「金額÷数量で単価割り戻し」 → 金額÷数量より単価を算出します。
- 引用時の再計算(消費税)** : 「しない」 → 表示されたデータをそのまま引用します。
※消費税がデータに存在しない場合は再計算されます。
「する」 → 金額、税率を用いて、消費税再計算を行います。
- 工種/品名引用** : 「する」 → 工種一覧登録/品名一覧登録から名称を引用します。
受入ファイルに設定されている工種/品名コードから引用します。
- 同一品名を合算** : 「しない」 → 表示されたデータをそのまま引用します。
「する」 → 受入データに同一品名の明細がある場合、明細を合算します。

3. 予算入力画面へ引用

引用する明細にチェック(☑)を付け、「登録」ボタンを押下することでデータが引用されます。
 なお「全選択」ボタンを押下することで全明細にチェック(☑)を付けることができます。

The screenshot shows the '登録' (Register) button highlighted in red. Below it, the '引用ボタン' (Quote button) is also highlighted. A red box highlights the 'チェック' (Check) column in the main table, with a callout '引用選択' (Quote selection). Another red box highlights a row in the table, with a callout '行を選択' (Select row). Below the main table, the '引用' (Quote) button is highlighted in the 'ツール表示' (Tool display) area.

No.	チェック	レベル	取引区分名	コード	品種	品名	税処理区分名	当初数
1	☑	1	101		直接工事費			
2	☑	2	101		土工			
3	☑	3	10104		ブルドーザー掘削機			
4	☑	4	018-000401		諸経費その他	電力用水費	外税	1
5	☑	4	001-000001		手入力用	材料費	外税	1
6	☑	4	013-000002		機械・設備機械	ブルドーザー 4t	税無	5
7	☑	4	0000-0013-000032		機械・設備機械	ガンフトラック 2t	税無	4
8	☑	4	0000-0001-000005		手入力用	現場経費	外税	2
9	☑	4	0000-0014-000001		社内資材	砂 土場渡し 10t車	外税	10

<引用時の調整>

- ・「費目、工種、種別」の積上金額は、引用時に必ず再計算されます。
- ・品名行の名称が重複している場合、引用時に同品名で「数量」、「金額」を合算、「単価」は割り戻して算出されます。
 ※「単価」端数は会社設定-採番情報タブの「予算・発注・原価-金額端数」で計算されます。
- ・「名称、備考」などで最大文字数を超過した分は、引用されません。
 ※この調整により、品名行が重複する場合がありますが、合算対象にならないため、予算登録時に名称重複エラーが発生します。重複エラーが発生した場合は、手入力で「品種」もしくは「品名」を修正して下さい。
- ・引用される階層は、「工事登録」の工種管理区分に依存します。
- ・「費目、工種、種別」の「明細名1」「明細名2」は結合して引用されます。

<受入ファイルの各項目が空欄、もしくは不正な場合>

- ・「コード」「税処理」「要素内訳」は、初期設定-原価情報タブの「費目・工種・種別・品名」既定値が引用されます。
- ・「税率区分」は「工事登録」の受注日を元に決定されます。
 ※受注日が未登録の場合は、どっと原価シリーズのログイン日付を元に「税率区分」が決定されます。

4. 環境の注意点

- ・ファイル受入時の「数量」「単価」「金額」は、「会社設定」・「端数設定」の小数点表示に従います。設定された小数点以下は切り上げが行われます
- ・3階層以下のデータを持つファイルを受入れる場合は最下層が品名行に変換されます。
例) 下図のように「費目、工種、種別」までのデータは、ファイル受入時に「費目、工種、品名」に変換されます。

レベル	取引区分名	コード	品種	品名	税処理区分名	当初数量	当初単位	当初単価
1			直接工事費			1.0	式	
2			道路修繕 厚別地区			1.0	式	
3			舗装工			1.0	式	
3			アスファルト混合物	ホリマ-改質II型細密粒度キヤップアス		507.0	t	26.4
3			アスファルト混合物	機能性 砕石マチック混合物 ホリマ-改		147.6	t	23.3

↓
変換

レベル	取引区分名	コード	品種	品名	税処理区分名	当初数量	当初単位	当初単価
1			直接工事費			1.0	式	
2			道路修繕 厚別地区			1.0	式	
4			舗装工			1.0	式	
4			アスファルト混合物	ホリマ-改質II型細密粒度キヤップアス		507.0	t	26.45
4			アスファルト混合物	機能性 砕石マチック混合物 ホリマ-改		147.6	t	23.30

初 版 2015年 10月 14日

第 10 版 2024年 6月 27日

製作・著作 株式会社 建設ドットウェブ

<https://www.kendweb.net/>

ご 注 意 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
本書の内容に関しては訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
